

「事例検討会」全体を通しての意見・感想

※個人が特定される可能性のある記述は掲載していません。

医療従事者	
小児科医	教育現場の直接的な声が聞けて良かったです。
小児科医	数回目の参加ですが、少人数での顔を見ながらの事例検討を楽しみにしています。
小児科医	昨年に引き続き、2回目の”不登校”の事例検討会でしたが、おさらいになると同時に新たな気づきもあり、勉強になりました。 どのような経過をたどって折り合いをつけていったのか、実際の事例をご紹介いただくと、どうやって自分が対応したらよいか、よりイメージがわかりやすいように思えます。時間の制限や個人情報保護などの問題で難しいかもしれませんが、ご検討いただけるとありがたいです。
心理	グループワークで他の支援機関の働き方や、自分の知らない情報を知ることができました。検討会の中では質問できなかった部分もあり、もし可能であれば、検討会が終わったあとに先生方に質問を送ってお答えいただくと嬉しいです。
その他	不登校という問題にはやはり現場は戸惑い、どうやって継続的な支援を続けていくかでとても苦労されている事が分かった。 家庭環境を整えるという事で妊娠中から関われる事があると感じた。
教育関係者	
教育関係者	不登校の子どもへの「なぜ学校へ行く必要があるのか？」という問いに対して杉本先生から答えが明確で、胸にストーンと落ちました。 特にネット時代とはいえないのくだりはとても具体的で子どもにもとても分かりやすい（保護者にも分かりやすい）と感じました。教師という立場で、どこまではっきり言っているのか迷うこともありました。子どもからの「なぜ」に答えられるように、このレクチャーを参考にしながら準備していきまいたおもいました。
教育関係者	グループワークを通し、ちがう立場の方々の困り感や考え方を聞くことで、新たな気づきを得ることができました。外部機関との連携は、地域にある資源に違いが大きいことから考え方にも違いが大きく、一様に論じるのは難しいということがよくわかりました。
教育関係者	日付を勘違いして参加できませんでした。申し訳ありません。資料や事後の回答等参考にさせていただきます。 いつもありがとうございます。
教育関係者	私たち各々の力は小さいが他の機関と連携することで、長く強く支援が広がることを改めて感じられた。
教育関係者	さまざまな立場から忌憚のない意見を聞くことができて良かった。 教育、特に義務教育の学校では、親との関係性であまりはっきりと教師の意見を言わない場合が多いので、杉本先生の話の内容に考えさせられた。

教育関係者	<ul style="list-style-type: none"> ・ミニレクチャーの時間がもう少しあってもよいと感じています。専門家の先生からお話をお伺いできる機会なので、詳しく聞きたいです。 ・今回の資料で合理的配慮の部分が資料には含まれていなかったのですが、ホームページ等で追加していただくことは可能でしょうか。ご検討していただきたいです。 ・今回の不登校の内容は、職場の職員にもっと共有したい内容でした。ご家庭の都合等で参加が厳しい方もいるので、ミニレクチャーの内容をアーカイブ配信していただきたい。職員研修等で利用できると現場としてはありがたいです。
教育関係者	<p>杉本先生のミニレクチャーはちょうどいいボリュームで、次回も引き続き聴きたくなりました。いじめ予防と重大事案発生時との間の大切な部分について、特に参考になるなど感じさせられました。職場で対応中の事案もあるため、即戦力となる知識を得ることができました。</p> <p>新大教職員大学の先生（中学校教員）、同じ中学校養護教諭、関係機関スタッフというメンバーでグループワークを行い、関係機関連携について掘り下げることができました。資源は限られているけれど、その中でやりくりしていこうと改めて思いました。</p>
教育関係者	<p>多職種の支援者と意見交換させてもらえ、とても貴重な機会となりました。ただ、高等学校となると義務と異なり外部機関とうまくつながることができない状況かと思います。</p> <p>高校では新たに各学校に「不登校担当教員」が配置されましたが、他の業務を抱えながらたくさんの不登校に対応していくのはとても困難です。きちんとひとりひとりの生徒、保護者を支援していくためには専門のSSWが各校または2から3校に1人（現状のSCのように）配置し、不登校生徒に対する支援を担っていく必要があると思いました。</p>
教育関係者	<p>とても参考になった。ミニレクチャーでの冒頭、「なぜ学校へ行く必要があるのか」の問いに対して「自分で稼いで食べるようになるため」の回答がとても大切だと思う。正直、ゴールが明確でないまま「まずは休ませる」という医師、保護者が多い。原因の除去、背景への対応等あるが、まずはこのゴールを明確にして、共有し対応することが大切だと強く感じた。</p>
教育関係者	<p>初めて参加しました。他職種の方と意見交流する機会が少ないのでとても有意義な研修会でした。ありがとうございました。また参加したいと思っています。</p>
教育関係者	<p>グループワークで、不登校にかかわるいろんな立場の方がいることを再認識。しかし、今の所属行政区のその立場の方が、どれほど頼れる方なのかが未知数過ぎて、やはり活用しにくい。やはり</p>
教育関係者	<p>専門のdrから講話をお聞きしたり、グループワークなど大変充実した研修会でした。</p>
教育関係者	<p>最後に杉本先生が話された、「タフに関わっていく」という言葉に励まされ、叱咤されました。明日からまた、粘り強くやっていきたいと思っています。ありがとうございました。</p>
教育関係者	<p>「原因」と「背景」に分けて、明確に示され、すっきりした。そしてキーワードは「安心安全をつくる」ことであると感じた。</p> <p>グループワークで話題になったのは、その一つ一つの解消に学校職員や担任が「タフにかかわる」ことが難しいということである。そのようなときに、外部の連携が必要であるが、連携先や関わりが十分でないことが課題である。「伴走者をいかに見つけていくかが課題」という杉本先生の言葉に強く共感した。</p> <p>「相談しながら自己決定していく」小さなことからなら始められそうだと、少し、落ち着くことができた。</p>

教育関係者	<p>職種や立場の違いで、不登校児に関わる支援の違いが具体的にわかった。「自立」（稼げる大人になる）という考え方は同感で自分の認識でよかったと確認できた。また、自立に向けて自己選択力、決定力や相談力をつけていくことの大切さも自分の立場で子どもたちへ付けていきたい力と考えていたので、その方向性が同じで安心した。さらに、「学校への登校が最終目標でないが、学校が自立に向けてのコスパが良い」という認識も同感である。一方でそこに参加できない状況の子たちに「自立」に向けた力をつける機関の教育支援が重要と感じた。</p>
教育関係者	<p>お疲れ様です。 一度聞いていた内容ですが、改めて聞くと、まだまだ学ぶことがたくさんありました。 グループワークでは、学校に特別支援の知識を持った教員がほとんどいないという現実、他職種の方がドン引きしてました。 特に高校の場合、特別支援は教科ではないし、クラスがあるわけでもないため、専任の教員の配置がないのです。特別支援教育コーディネーターを充てられて研修を受けたり、自分で研修を受けて知識を身につけていくしかないのです。</p>
教育関係者	<p>とても有意義な時間になりました。 改めて確認することができたり、新たな視点を得られることができた。</p>
教育関係者	<p>不登校に毎日悩みながら仕事をしていますが、今日参加されている方々もみんな悩まれているんだな…と思い、頑張っていこうと思えました。 ミニレクチャーもとても分かりやすく講義いただき、もっと聞きたかったです。</p>
教育関係者	<p>お疲れ様でした。 現場の先生方が対応に苦慮するのは、子どもの対応もそうですが、むしろ子どもを理解できず、子どもの状態にそぐわない対応をする保護者だったり、それによって、親子関係が拗れて不調になることのように思います。私たち地域の支援者が、医療につながる前にできることがあるとすれば、保護者への心理教育的な関わりかと思えます。そんな視点でお話いただけると、不登校は難しいね、ではなくて、学校の先生方に参考にして対応いただけるのではと思いました。</p>
教育関係者	<p>平日夜なので、1時間半、ミニ講義と、グループワークでちょうどよい感じだと思います。 講義的な感じではなく、臨床現場を持つ杉本先生からの生の声で発信していただき、励まされました。 見立てが大事というのは仰る通りだと思いますし、正解がないというのも本当にそうだなと思います。 グループワークでは、職域の違う方々同士で「うちではこうしている」という内々の話が聞けたり、「ここがどうなってるかわからない」という声に、部分的に回答できたりと、有意義だったと思います。</p>
教育関係者	<p>レクチャーを伺って、頷くことが多くありました。もっとレクチャーを伺いたかったです。 不登校の原因、背景に関しての事例を伺い、参考にしたかったです。 今回のグループでは、異なる職種や立場でばかりだったため、他の方のお話を参考にしづらく、自分の現在関わっているケースや過去に関わったケースに結びつきにくかったです。</p>

教育関係者	<p>・ミニレクチャー+グループワークの研修のため、学びが多い。特に、今回は地域ごとしかも職種をちりばめてもらったことで、複数の視点から情報を得ることができた。また、自校でやっていることを引いて観ることができ、よさや改善点に気付くことができた。</p> <p>・当日、質問ができるようにあるとありがたい。</p>
教育関係者	見立ての力と対応力が大事であること、学校に行く行かないにかかわらず、自己決定力と相談力を子どもに育むことが大切だという言葉が心に残りました。普段の支援に活かそうと思います。
教育関係者	<p>不登校の背景、原因、発達障害など様々な角度から診てくださる先生が近くにいると心強いなあ、と思いました。</p> <p>自己決定力・・・わかりますが、小学校段階で子どもたちにそれを求めてしまうと、学校に行かないという選択をしてしまう子もいます。高学年までは学校に行くことをルーティーンにする力が子供達にも大人にも必要だと感じます。多様性や主体性も大切ですが、それには大きな大きな責任が伴うことを教えていきたいです。</p>
教育関係者	<p>グループワークでは、具体的な（仮定の）事例等があると、事例検討はしやすいと思うのですが、その入り口的な課題について意見交換をしているような感じだったので、少し物足りない感がありました。</p> <p>けれども、杉本先生のミニレクチャーと、グループワーク後の事前質問に答える形式のお話は、とても有益な内容だったと思います。今後に活かしていけるよう精進したいと思いました。</p> <p>今回もありがとうございました。</p>
教育関係者	<p>杉本先生のお話を聴かせていただくと、何を大切にしていけるかを再確認することができます。</p> <p>そしてそのうえで具体的にどのように動くのかを示していただけることがとてもありがたいです。</p> <p>「見立ての力と対応力」を磨いていくために、これからも学び続けていきたいと思っています。</p> <p>ありがとうございました。</p>
教育関係者	<p>多職種の参加者との意見交換は有意義であった。不登校以外の情報も得ることができ、特異なケースでつなぎ先や支援先の紹介に困ることが多かったが、そうした紹介先を見つけることもできた。</p> <p>杉本医師のミニレクチャーは、納得と再確認の連続で、子どもや保護者と向き合う際の自身の姿勢を再確認でき、非常に参考になった。</p>
教育関係者	様々なお話を伺えて、勉強になりましたが、時間が足りなくて、物足りなく終わってしまったので、また次回も参加したいと思います。
教育関係者	杉本先生からお話を聞くことができて、とても有り難かったです。もっとお話をお聞きしたいと思いました。貴重な時間をありがとうございました。今後に活かしていきたいと思っています。
教育関係者	グループワークで、様々な立場の方から不登校にまつわる現状を聞くことができて参考になりました。平日夜の開催ですが講義とグループでの協議がコンパクトにあるので良いと思います。
教育関係者	様々な立場の方との情報の共有ができ、また講師先生からは合理的配慮の具体例の紹介など有意義な情報が多くてよかったです。
教育関係者	ミニレクチャーがとてもわかりやすく、今困っている事例の参考になりました。グループワークも様々な職種の方の関わり方や役割を知ることができ、大変有益でした。ありがとうございました。

教育関係者	お二人の先生のご指導がこれからの指針となりました。また、異業種の方と交流できて視野が広がりました。 ありがとうございました。
教育関係者	不登校の支援に入る前に、原因・背景を見立てることの重要性がとてもよくわかりました。子どもへの支援に関する話を中心でしたが、保護者支援のお話も聞きたいと感じました。
教育関係者	段階的な登校刺激の仕方についてご説明いただき、その子に合わせるためにも本人と対話し、短期ゴールと長期ゴールを設定していきたいと思います。
保健・福祉関係者	
相談員	いつも思うことですが、一人 事業所のため、こどもの支援について平日夜にこんなにたくさんの方が真剣に学ぼうとされているのを目にし、一緒にお話し合いができることを大変ありがたく思っています 無理を承知で言わせていただくと、不登校に関してはもう少し時間を取っていただけるとありがたいです。
その他	研修ありがとうございました。 今後も参加したいと思います。 具体的な事例について道筋を共有し、連携する各機関でどう対応できるか、実際に可能かなどのグループワークがあると良いのではと感じました。
相談員	GWでは教育・医療・福祉分野のメンバーがバランスよく割り振りされて、それぞれの視点から意見を聴くことができた。進行役と発表役が指定されておりスムーズにGWを実施できた。
相談機関従事者	錚々たるグループで恐縮しましたが、そんな先生方であっても日々悩まれていることも知れてやや安心しました。 最終的に、本人が自立した大人になること、そのためになににつまづいているのかの背景をみとることが大事だと再認識できました。